

# フェロモントラップによるコクゾウムシの大量捕獲

## 成果の特徴

- 穀物貯蔵倉庫で発生が見られるコクゾウムシは春と秋に移動性が高まります。
- 移動性の高まった個体を標的としてフェロモントラップを設置することにより、コクゾウムシを大量に捕獲することができます。
- コクゾウムシを大量に捕獲することによって発生頭数を押さえられる可能性があります。

## 成果の内容

大量捕獲トラップ設置箇所	トラップ設置月			
	2018年	2019年		2020年
	10~12	3~5	10~12	3~5
倉庫I 下屋	4	13	3	7
倉庫II 下屋	112	44	29	13

穀物貯蔵低温倉庫下屋に設置した大量捕獲トラップに捕獲されたコクゾウムシ成虫数の合計（頭）

本庫内に設置したモニタリング用トラップに捕獲されたコクゾウムシ成虫数（11月～翌年10月の回収，初年度のみ5月～10月）の合計

	2016年5月～	2016年11月～	2017年11月～	2018年11月～	2019年11月～
	10月	2017年10月	2018年10月	2019年10月	2020年10月
倉庫I 本庫	51	7	4	3	8
倉庫II 本庫	19	9	35	34	26
倉庫III 本庫	203	27	3	12	3
倉庫IV 本庫	49	278	109	32	114
倉庫V 本庫	33	243	34	87	267

大量捕獲トラップを設置した倉庫（黄色部）では、本庫内で捕獲されるコクゾウムシ成虫数が比較的少なく維持されている。設置しなかった倉庫のうちの2つでは捕獲数の増加が見られた（灰色部）。

## 想定される用途・連携希望先

- 本研究成果は穀物倉庫におけるコクゾウムシの発生量をモニタリングし、倉庫管理を向上させる際に利用可能です。
- 穀物倉庫管理者や害虫管理業者との連携を希望します。

## 参考

今村ら（2020）穀物貯蔵低温倉庫におけるフェロモントラップによるコクゾウムシ成虫の捕獲調査，都市有害生物管理 10: 1 - 7

今村ら（2022）穀物貯蔵低温倉庫におけるコクゾウムシ成虫のモニタリングと大量捕獲，都市有害生物管理 12: 51 - 56

代表研究者：今村 太郎  
所 属：食品研究部門  
食品流通・安全研究領域